

平成30年度 保健福祉部 健康づくり担当部長の目標宣言 達成状況報告

保健福祉部 健康づくり担当部長 井上 稔

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
1	市民健康増進事業の推進 (健康づくり課)	市民の健康の維持・増進を図るため、大学、医療機関及び地域住民などと連携し、保健・医療等の各事業を通じ、市民の健康づくりを推進します。 また、未病センターを開設し、健康づくりに関する情報の提供等を行い健康意識の啓発を図ります。	・健康相談等参加者数 6,500人 ・栄養相談等参加者数 3,400人 ・健康バス参加者数 650人 ・未病センターの開設 平成30年7月	・未病センターを開設すると共に関係機関と連携した健康づくりの取組を推進しました。 ・多くの市民の方に、健康・栄養相談、健康バス及び未病センター等を活用していただきました。  [今後の取組の方向性] ・健康寿命の延伸に向け、市民の自主的な健康づくりを支援するため、未病センターの利用促進及び関係機関と連携し、健康意識の啓発や生活習慣の改善、健診や運動などの予防事業を推進します	・健康相談等参加者数 6,529人 ・栄養相談等参加者数 3,419人 ・健康バス参加者数 555人 ・未病センター 平成30年8月開設
2	運動・スポーツ促進事業の推進 (スポーツ課)	総合型地域スポーツクラブの運営支援を行い、運動の機会を提供し交流の場を設けます。 また、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に参加及び世界大会を契機としたスポーツ振興事業等の実施により、市民の健康づくり、運動・スポーツの習慣化を推進します。	・東海大学健康クラブの健康促進プログラムの提供を受ける市民の数 100人 ・伊勢原・ふれすぽ参加者人数 3,000人 ・チャレンジデー住民参加率 76%以上 ・タグラグビー及びポッチャ教室の開催 各2回	・新たな運動教室を開催するなど多くの市民に運動する機会を提供し、運動・スポーツへの興味や関心、健康づくりに対する意識の向上及び運動習慣の定着化を図りました。  [今後の取組の方向性] ・市民が日常的に運動・スポーツをするきっかけづくりに取り組むとともに、総合型地域スポーツクラブの運営支援、地域における継続的な運動・スポーツに親しむ機会の提供及びチャレンジデーなどを通じて運動習慣の定着化を図っていきます。	・東海大学健康クラブの健康促進プログラムの提供を受ける市民の数 109人 ・伊勢原・ふれすぽ参加者人数 3,698人 ・チャレンジデー住民参加率 78.8% ・タグラグビー及びポッチャ教室の開催 各2回
3	国民健康保険事業の適正運営の推進 (保険年金課)	国民健康保険事業の適正な運営に向け、医療費の適正化を推進するとともに、自主財源確保のため、保険税の収納率の向上を図ります。 また、医療費や国保事業費納付金等の動向を把握し、一般会計からの「その他繰入金」の縮減を目指します。	・保険税収納率(現年分) 91.4%以上 ・特定保健指導実施率 前年度実績以上 ・その他繰入金の縮減 平成31年度当初予算繰入額を前年度以下	・収納課との連携を図り、国保税の収納率向上に取り組むとともに、特定健康診査・特定保健指導の受診・利用勧奨及びジェネリック医薬品差額通知などの実施により医療費の適正化、その他繰入金の削減に取り組みました。  [今後の取組の方向性] ・国民健康保険事業の適正な運営に向け、医療費の適正化を推進するとともに、自主財源確保のため、保険税の収納率の向上を図り、一般会計からの「その他繰入金」の縮減を目指します。	・保険税収納率(現年分) 92.0%(見込) ・特定保健指導実施率 15.5% ・その他繰入金の縮減 2億円